

監事監査報告書

平成21年 5月25日

学校法人 東京家政学院
理事会 御中
評議員会 御中

学校法人 東京家政学院

監事 山本 晶 
監事 遠井 郁雄 

私たちは、学校法人東京家政学院の監事として、私立学校法第37条第3項及び学校法人東京家政学院寄附行為第13条第4項の規定に基づき、平成20年度（平成20年4月1日から平成21年3月31日まで）の学校法人東京家政学院の業務及び財産の状況について監査を行いました。

業務状況の監査は、理事会及び評議員会への出席や適宜の監事監査を通じて、理事等から業務の状況の報告を聴取したほか、千代田三番町、町田、筑波の各キャンパスの現地視察による業務監査を実施しました。

財産状況の監査は、数次で資金収支状況、預貯金残高状況、施設設備計画の進捗状況等の報告を聴取し、平成20年度における計算書類、すなわち資金収支計算書（附属の内訳表を含む）、消費収支計算書（附属の内訳表を含む）、貸借対照表（附属の明細表を含む）及び財産目録並びに収益事業に係る決算報告書（貸借対照表、損益計算書）について監査を行いました。また、あずさ監査法人との意見交換を実施しました。

監事監査の結果、業務の状況は適切に行われており、計算書類は、学校法人会計基準（昭和46年文部省令第18号）に準拠し、学校法人東京家政学院の平成21年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する会計年度の経営状況を適正に表示しているものと認めました。

理事の業務の状況は、不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する事実のないことを確認しました。

以上